

2024 年度後期日程 人文社会科学研究科 日本語日本文学専攻 修士課程 留学生選抜

【専門科目】

論述・日本語教育(志望専門分野)

出題意図

「論述・日本語教育」科目全体

日本語と日本語教育を専門的に学修、研究するために学士水準の必要な知識を備えていることを確認するとともに、それらの知識を日本語教育の実践的な課題に関連づけて分析、思考、判断し、論理的な日本語で説明する能力を問う。

設問別

論述

【1】日本語学（特に文章・談話論）に関する専門用語や概念を理解した上で、自身の言語観を論じることができるかを問う。

①言語表現における「文脈」について、具体例を挙げながら、自身の言語観を論じることができるかを問う。

②「ポライトネス」理論と「敬語表現」の研究範囲についてその異同を具体例とともに論じることができるかを問う。

③狭義の「文法（文を成立させるための法則）」を超えた言語現象について具体的に示し、それらが形態的指標を伴った意味的な単位であることを論じることができるかを問う。

【2】研究計画のうち、特に、文章・談話研究において重要な言語データの収集の仕方について、実行可能であるかを具体的に論じることができるかを問う。

日本語教育分野

〔I〕問題番号 1-5

海外における日本語教育の現状と動向について基礎的な知識を問う。

〔II〕問題番号 6-10

JF スタンダードの特徴とその根底にある考え方に関する基礎知識を問う。

〔III〕問題番号 11-20

日本語教育に関する基本的な専門用語や概念の理解度を問う。

[ IV ] 問題番号 21-22

問題番号 21 は、学習者の言語習得過程を踏まえて初級日本語教育における学習項目の配列について分析、判断し、その根拠を論理的な日本語で説明する力を問う。

問題番号 22 は、言語使用の状況を踏まえてコミュニケーション場面における日本語表現の機能と適切性について分析、判断し、その根拠を論理的な日本語で説明する力を問う。

## 解答例

### 論述

#### 【1】①

我々は、意味的に最小の単位である「語」について、文脈を想定しない「辞書的な意味」を想定できるとされる。例えば、「犬」という語は「動物のイヌ」という意味以外に、「権力者に従順に従う人」という意味を有するが、「犬」という語が「イヌ」も「ヒト」も意味するというのは認め難い。犬がイヌなのかヒトなのかは文脈に埋め込まれた言語表現「犬」によって決まると言ってよい。

1. 昨日、ペットショップで「犬」を買った。

2. 社長にしつばばかり振って、あいつはほんとに社長の「犬」だな。

上記の2つの例では、例1はイヌであり、例2はヒトであることがわかる。これは、「犬」という言語表現によって意味が決まるのではなく、言語表現が使用される文脈によって意味が決まることを示しているといえる。

#### ②

ポライトネスは言語表現にととどまらず、相手にどのように配慮をするのかを研究対象としている。それに対して、敬語表現は、あくまでも尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語といった言語表現によって自分と相手の関係（親疎・上下）を示すものである。例えば、敬語表現で考えると、尊敬語によって相手への敬意を表すことができるため「先輩は頭がよくていらっしゃいますね」という表現が可能ということになってしまうが、ポライトネスでは、相手の能力を評価すること自体が配慮に欠けるため、そもそもこのような表現を使うことができないということになる。ただし、このような表現は「慇懃無礼」な表現として機能し得るため、敬語表現と意図との複雑な関連が認められる。

また、相手への敬意を表す方法は敬語表現のみではない。例えば、「本日は遠路はるばるお越しくださいませ、誠にありがとうございます。」と尊敬語を用いても、ふんぞり返って発話しては、相手へ敬意が伝わらない。

#### ③

ここでは、「連文」について検討する。例えば、「①今朝の天気予報は晴れだった。」という文があるとする。この文は、事実を叙述する文として成立しているが、次に「②だから、洗濯物を干した。」という文が続くとする。この②の文も事実を叙述する文であるが、それだけでなく、①の文を根拠とした判断の文となっている。ここに、「①今朝の天気予報は晴れだった。②だから、洗濯物を干した。」という「根拠－判断」の意味的なまとまりが成立している。これは、①の文と②の文とを独立して分析しては導けないものである。このように、①と②は「だから」という接続表現によって結び付けられた「連文」という単位となる。紙幅の関係で具体例は挙げないが、「段（落）」についても、形態

的指標を伴った文を超えた意味的な単位として、同様に分析が可能である。

## 【2】

ここでは、採点要素を示す

- 研究の目的が具体的に示されている。
- 目的のために必要な言語データが示されている。
  - ・研究目的に合った言語データとなっているか（音声・文字・映像等）
- 言語データをどのように収集するか具体的に示されている。
  - ・言語データを収集する「場」があるか
  - ・調査協力者は十分に集められるか
  - ・調査方法が具体的に示されているか
  - ・調査に必要な機材等は準備できるか
  - ・期間が明確に示されているか
  - ・言語データの信頼性の高さはどの程度担保できるか
- 2年間で無理なく研究を終えられる計画となっている。
  - ・言語データ収集の時期・期間が具体的に示されているか
  - ・収集した言語データを分析・こうさつする時間が十分にとられているか

# 模範解答例

## ■日本語教育

| 大問  | #  | 正答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 配点   |
|-----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| I   | 1  | A. 韓国                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2    |
|     | 2  | B. 中等教育                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 2    |
|     | 3  | D. インターネット                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2    |
|     | 4  | C. 中米                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2    |
|     | 5  | C. 高等教育                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 2    |
| II  | 6  | A. 評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2    |
|     | 7  | A. CEFR                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 2    |
|     | 8  | C. 能力記述文                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 2    |
|     | 9  | D. 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 2    |
|     | 10 | C. ポートフォリオ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2    |
| III | 11 | レディネス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2    |
|     | 12 | インフォメーション・ギャップ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 2    |
|     | 13 | 同音異義                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 2    |
|     | 14 | 代入                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2    |
|     | 15 | 待遇                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2    |
|     | 16 | 有声                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2    |
|     | 17 | ミニマル・ペア or 最小対立語                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 2    |
|     | 18 | 談話                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2    |
|     | 19 | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2    |
|     | 20 | 形成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2    |
| IV  | 21 | <p>(正答例)</p> <p>順番:A→B→C</p> <p>理由:文 A の「に」は動作の方向・相手を示しており、文 B の「に」は動作の目的を表している。これら二つの難度を比較すると、目的を表す「に」の方が高いと判断できる。だから、文 A をはじめに学習した方がよい。文 C にも「に」があり、目的地、場所を示している。また、進行形と依頼で用法は異なるけれども、文 A と同様にテ形を使っている。これらの用法は難度が低いと言えるけれども、「着いたら」のタラ形は辞書形過去に接続するので、難度が高いといえる。だから、文 C を最後に教えた方がよいといえる。</p> <p>※B→A→C も可能。C が最後になることが重要。</p> | (10) |
|     | 22 | <p>最も不適切な状況:C</p> <p>理由:A の状況では「一緒に行きませんか」など、友達に話し手と同じ映画を見るように勧誘できる。B の状況では、「飲み物を買いませんか」など、友達に飲み物を買うように提案できる。しかし、C の状況では、「静かにしませんか」や「おしゃべりをやめませんか」など、おしゃべりをしている相手と同じ行動を私もすることを前提にして提案するわけではないので、不適切だといえる。</p>                                                                                                                 | (10) |
|     |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 50   |